

開設日 月～金の毎日(祝日を除く) 対象 子育て中の保護者と子ども
子育て中のママ
マタニティーママ
開設時間 午前9時30分～午後3時 利用料 町内 100円
場所 荇北町新ふれあい館 町外 200円

※ お悩みご相談があるときには、お気軽にお電話もしくはご来館ください

はじめまして！

絵本紹介

たまごのあかちゃん



神沢まり子 文
柳生弦一郎 絵
972円(税込み)

たまごの中で、かくれんぼしている赤ちゃんは、だあれ？でておいでよ。と、リズムカルな文と、ユーモラスな絵がとても楽しいです。

5月の行事予定

10日(金)クッキング(ピザ作り)
10:15～

21日(火)小物が素敵にハンドメイド
デコバージュ
10:15～

みんな
ニコニコ
元気でーす

育児情報

「見てね！」「見てて！」を無視しない

気持ちに共感してほしいときや
成長を見てほしいときのアピール

大好きなママの反応をいつも待っている。

子育ての育脳ポイント!!

「できた！」「よかったね！」をふやしてあげる

たくさんの成功体験で自信がつき、
何事にも挑戦できる子に

ポジティブな経験が自信のもとに

小さい子どもは、ママに「見て！見てて！」と、よく言います。この「見て！」には、二つの意味があります。
一つ目は公園できれいな花を見つけたなど、うれしいときに、ママにもその気持ちをわかってほしくて「見て！」という場合や「こわい」大丈夫？という不安な気持ちに共感してほしいときにも使います。もう一つは、段差からジャンプができた、積み木が3つ積み重なったなど、「できるようになったよ！」とママに認めてほしくてアピールする場合です。だから子どもが「見て！」と言ったときには、そちらを見て「花がきれいだね」「跳べたね」などと声をかけてあげてください。大好きなママが自分の言動に反応してくれることは、子どもには最高にうれしいことで、ママへの愛着を強めます。

子どもは好奇心のかたまりです。やりたいと思ったら、なんでもトライします。そして、挑戦しては失敗することをくり返しながら成長していきます。だから失敗したときにしかるのは絶対にNGです。
そのかわりに、大人は失敗しないように工夫をして、目立たないように手助けをしてあげてください。着替えがうまくできないときは、後ろからそっとズボンをはきあげる、手を洗う場所には踏み台を置くなどして、子どもが「自分でできた！」という経験をたくさん積めるようにしてあげましょう。うまくできたら「できた」「よかったね！」とほめてあげてください。
「やった」「うれしい」という経験をたくさんした子は、自分に自信が持てるようになり、自分の意志で決断・行動できる力が身につきます。

